

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41100 公衆浴場設備改善事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画
	款	4	衛生費		ポイント							
	項	1	保健衛生費		政策分野							
	目	1	保健衛生総務費		施策分野							
担当課	医療保健部	健康推進課	内線	2804								市長公約

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民の公衆衛生の向上と公衆浴場事業者の経営の安定化	概要	・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(太陽エネルギー利用設備・省エネルギー型給湯設備・ボイラー等・その他の浴場設備)にかかる費用に対し補助を行う。
----	----------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,811	2,811	1,400	1,400	398	△ 2,413
特定財源	国費()						
	県費(公衆浴場設備改善対策事業費2/3)	800	1,874	930	930	265	△ 1,609
	その他()						
一般財源		2,011	937	470	470	133	△ 804
新規・拡充	主な事業内容						
	公衆浴場設備改善対策に対する助成	2,811	2,811	1,400	1,400	398	△ 2,413

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		0
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
0	0	0	△ 1,400	
				△ 930
0	0	0	△ 470	
査定額	説明			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(ボイラー等・その他の浴場設備)にかかる費用に対し補助を実施 2事業所へ補助 ・ボイラーの突発的な故障に伴う交換等、予定外の工事もあり、当初予算より増額して補助を行った。 ・公衆浴場設備改善への支援により、公衆衛生の向上に寄与した。
評価等	・市内公衆浴場事業者は、設備の老朽化や利用者の減少等により、今後の経営に大きな不安を抱えていることから、今後も施設、設備の老朽化や修繕の希望状況、経営状況などを随時把握し、必要な支援を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定 ・引き続き、公衆浴場の改修等に対する必要な支援を行う。 ・公衆浴場組合と連携して、経営環境の状況把握に努める。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・市内公衆浴場事業者が設備の維持・改善のために行う改修等(ボイラー等・その他の浴場設備)にかかる費用に対し補助を実施 2事業所へ補助 ・公衆浴場設備改善への支援により、公衆衛生の向上に寄与した。
評価等	・市内公衆浴場事業者は、設備の老朽化や利用者の減少等により、今後の経営に大きな不安を抱えていることから、今後も施設、設備の老朽化や修繕の希望状況、経営状況などを随時把握し、必要な支援を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定 ・引き続き、公衆浴場の改修等に対する必要な支援を行う。 ・公衆浴場組合と連携して、経営環境の状況把握に努める。

担当課 予算要求 ポイント	・41120公衆衛生推進事業費へ統合
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41110 畜犬登録事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画
	款	4	衛生費		ポイント								
	項	1	保健衛生費		政策分野								
	目	1	保健衛生総務費		施策分野								
担当課	医療保健部	健康推進課	内線	2804				分野別		市長公約			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病の発生及びまん延を予防し、狂犬病の撲滅を図り、公衆衛生及び公共の福祉の向上につなげる。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 ・狂犬病予防注射の実施、注射済票の交付 ・飼い主等に対するマナー啓発の実施 ・所有者不明猫の保護及び不妊手術等への団体補助の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5			R6		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	900	779	960	960	945	166
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(畜犬登録手数料)	900	779	960	960	945	166
一般財源		0	0	0	0	0
新規・拡充	主な事業内容					
畜犬登録事務	600	479	560	560	545	66
飼い主のいない猫の緊急保護に対する助成	300	300	400	400	400	100

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
0	0	0	△ 960
			△ 960
0	0	0	0
査定額	説明		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 登録数4,279頭 ・狂犬病予防注射の実施 3,718頭(集合注射:市内156か所、動物病院等での個別接種) ・未接種者へのはがき送付による接種の勧奨 ・犬のふん尿マナー啓発用看板設置 ・動物愛護団体が実施する所有者不明猫の保護活動に対する補助(47頭)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、飼い犬の登録等の届出や、狂犬病予防注射の必要性の周知、飼い主のマナー向上の啓発に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を巡回しての狂犬病予防集合注射を継続して実施する。 ・狂犬病予防注射の重要性の啓発を行い、予防注射接種率の向上を目指す。 ・未接種者に対する啓発を迅速に実施する。 ・希望者に対するマナー啓発看板の配付を実施する。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い犬の登録・変更・死亡届出の受付、登録データの管理 登録数4,104頭 ・狂犬病予防注射の実施 3,677頭(集合注射:市内159か所、動物病院等での個別接種) ・未接種者へのはがき送付による接種の勧奨 ・犬のふん尿マナー啓発用看板設置 ・動物愛護団体が実施する所有者不明猫の保護活動に対する補助金の各団体上限額を15万円から20万円へ増額(62頭)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、飼い犬の登録等の届出や、狂犬病予防注射の必要性の周知、飼い主のマナー向上の啓発に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を巡回しての狂犬病予防集合注射を継続して実施する。 ・狂犬病予防注射の重要性の啓発を行い、予防注射接種率の向上を目指す。 ・未接種者に対する啓発を迅速に実施する。 ・希望者に対するマナー啓発看板の配付を実施する。

担当課 予算要求 ポイント	・41120公衆衛生推進事業費へ統合
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41120 公衆衛生推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画				
	担当課	医療保健部	健康推進課		内線	2804	款		4	衛生費	ポイント		(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり	市長公約		
							項		1	保健衛生費	政策分野		1	福祉・医療・健康			
							目		1	保健衛生総務費	施策分野		(6)	健康・保健			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健・衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持・増進及び公衆衛生の向上を図る。	概要	・保健・衛生関係事務の遂行 ・骨髄移植ドナー及び雇用事業所に対する助成
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5		R6			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	272	252	462	462	252	0
特定財源						
国費()						
県費(骨髄移植ドナー支援事業費1/2、県委譲事務交付金等)	142	39	144	144	37	△2
その他(畜犬登録手数料)						
一般財源	130	213	318	318	215	2
新規・拡充	主な事業内容					
	272	252	252	252	252	0
			210	210	0	

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		3,052
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,042	3,052	3,052	2,590	
1,074	1,072	1,072	928	
1,072	1,080	1,080	1,080	
896	900	900	582	
査定額	説明			
252				
210				
1,400				
680				
400				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・飛騨公衆衛生協議会負担金 ・骨髄移植ドナーへの支援補助 ドナー0名、事業所0箇所
評価等	・保健衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持や公衆衛生の向上が図られた。 ・引き続き負担金の適正な使途の確認が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き適正な事務の執行に務める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・飛騨公衆衛生協議会負担金 ・骨髄移植ドナーへの支援補助 ドナー0名、事業所0箇所
評価等	・保健衛生関係事務の適正な執行により、市民の健康の維持や公衆衛生の向上が図られた。 ・引き続き負担金の適正な使途の確認が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き適正な事務の執行に務める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・41100公衆浴場設備改善事業費及び41110畜犬登録事業費を当事業費へ統合 ・保健衛生関係団体への会費負担金等の必要な経費を計上 ・公衆浴場事業者が行う設備改修への支援に必要な経費を計上 ・動物愛護の啓発に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41200 健康づくり推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画、食育推進計画		
	款	4	衛生費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり									
	項	1	保健衛生費		政策分野	1	福祉・医療・健康									
	目	2	予防費		施策分野	(6)	健康・保健									
担当課	医療保健部	健康推進課	内線	2804				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民・関係団体と一体となり、市民一人ひとりの健康に対する意識を高めるとともに、心身の健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、市民の健康の保持増進を支援する。	概要	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進協議会の開催 食生活改善推進員教育事業(栄養教室)、国民の健康づくり推進事業(飛まわり会)の実施 健康相談、健康教育、健康づくり事業(健康まつり、健康ポイント、水中歩行事業)の実施 フレイル予防講座、眼育と食育の推進 たばこによる健康被害の軽減を目的とした禁煙外来費用の助成 がん患者の医療用補正具購入費用の助成
----	--	----	--

総合計画等 主な指標				R5実績	R6実績	R6目標
運動習慣者(30分・週2回以上の運動を1年以上継続)の割合(20~64歳)				27.1%	27.7%	34%
「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じている市民の割合				55.9%	57.1%	↗
健康寿命 (KDB数値R4実績)				男80.3歳 女84.8歳		男80歳 女84歳

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5			R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		9,482	5,800	9,288	9,178	6,346	546
特定財源	国費()						
	県費(健康増進事業費2/3、こころの健康支援事業費1/2等)	994	999	1,113	1,113	1,032	33
	その他(福祉健康基金繰入金、保健介護一体的実施事業)	1,070	735	1,660	1,660	1,600	865
一般財源		7,418	4,066	6,515	6,405	3,714	△ 352
新規・拡充	主な事業内容						
	市民健康まつりの開催(健康づくり啓発)	480	429	950	950	480	51
	健康相談・健康教育事業	1,680	1,240	1,680	1,680	1,620	380
	健康づくり事業(健康ポイント・水中歩行運動)	4,380	1,950	3,350	3,239	2,181	231
	フレイル予防講座(高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施)	550	504	550	550	540	36
	禁煙外来受診費用に対する助成	500	0	300	300	23	23
	がん患者医療用補正具購入に対する助成	600	629	800	800	731	102
	血糖値の見える化による糖尿病の予防						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action) (千円)

R7予算		実施計画額		9,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,014	9,000	9,000	△ 288	
1,045	1,046	1,046	△ 67	
550	550	1,460	△ 200	
7,419	7,404	6,494	△ 21	
査定額	説明			
950				
1,570				
3,530				
550				
150				
800				
540				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> コロナ等の感染予防対策のため市民健康まつりを中止、健康啓発チラシを新聞折込等に配布 一般健康相談(751回 1,108人)、重点及び総合健康相談(68回 264人)、集団健康教育(136回 1,297人) うちフレイル予防講座(26回 参加者187人) 食生活改善学習会実施回数(14回) 健康ポイント事業(達成者1,515人) 水中歩行運動事業(2クール、利用者47人) 眼育講座(4回、アドバイザー養成460名) 健康づくりに関する共創ミーティングを2回実施し、市民からの意見を徴収
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 健康ポイント事業、水中歩行運動により、市民が自ら健康づくりに取り組むための環境整備を図った。 学校や保育園などで眼育や食育の重要性を啓発した。 食生活改善推進員等の関係団体については、「健康たかやま21」や「高山市食育推進計画」の推進に欠かせない重要な団体として協働していく。 共創ミーティングの開催により、健康に関心の薄い人へのアプローチや、健康づくりへのきっかけづくりの支援の必要性を把握することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 一番手軽な運動であるウォーキングに取り組んでもらうことができるよう、ウォーキングコースや水中歩行運動事業の周知・啓発を実施し、利用を促進する。 眼育やフレイル予防などライフステージに応じた健康づくりを推進する。 健康に関心のない人であっても自主的に健康づくりに取り組めるよう、そのきっかけとなる新たな働きかけの方法を検討していく。 健康寿命の延伸に向け、関係部局と連携し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に引き続き取り組む。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市民健康まつりは、9月の1か月間を健康フェスティバル月間と定めて、日にちや開催場所を分散し、より多くの健康づくり体験ができる形へ変更した。(参加団体17、体験者数1,156人) 一般健康相談(762回 959人)、重点及び総合健康相談(66回 231人)、集団健康教育(123回 1,187人) うちフレイル予防講座(22回 参加者221人) 食生活改善学習会実施回数(8回) 健康ポイント事業(達成者1,158人) 水中歩行運動事業(2クール、利用者62人) 眼育講座(4回、アドバイザー養成273名)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 健康ポイント事業、水中歩行運動により、市民が自ら健康づくりに取り組むための環境整備を図った。 学校や保育園などで眼育や食育の重要性を啓発した。 食生活改善推進員等の関係団体については、「健康たかやま21」や「高山市食育推進計画」の推進に欠かせない重要な団体として協働していく。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 健康ポイント事業により、健診を受けることや運動習慣を持つこと等、健康に関心のない人であっても自主的に健康づくりに取り組めるような、きっかけづくりに努める。 眼育やフレイル予防などライフステージに応じた健康づくりを推進する。 健康寿命の延伸に向け、関係部局と連携し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に引き続き取り組む。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 健康まつりの開催に必要な経費を計上 健康寿命の延伸の取組みに必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41210 こころの健康支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、一人ひとりの命とこころを支える計画(自殺対策計画)、過疎地域持続的発展計画	
	款	4	衛生費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり								
	項	1	保健衛生費		政策分野	1	福祉・医療・健康			市長公約					
	目	2	予防費		施策分野	(6)	健康・保健								
担当課	医療保健部	健康推進課	内線	2846											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・個別の相談や啓発を行い、こころの健康の保持増進を図る。	概要	・メンタルヘルスチェックシステムによるこころの健康の啓発 ・精神保健福祉士等によるこころの健康相談 ・ゲートキーパーの周知と育成
----	------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
こころの健康相談来所者数	25人	22人	36人
こころの体温計アクセス数	16,987件	12,734件	20,000件

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5			R6			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	680	618	720	720	649	31	
特定財源							
国費()							
県費(こころの健康支援事業費1/2、2/3)	340	328	380	380	332	4	
その他()							
一般財源	340	290	340	340	317	27	
新規・拡充	主な事業内容						
	こころの健康支援事業	380	358	380	380	367	9
	ゲートキーパーの育成、命の大切さの啓発	300	260	340	340	282	22

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		680
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
679	680	680		△ 40
363	360	360		△ 20
316	320	320		△ 20
査定額	説明			
379				
300				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・メンタルヘルスチェックシステムの維持(アクセス数:16,987件) ・精神保健福祉士によるこころの健康相談(25人) ・自殺予防啓発リーフレットを作成し、出前講座等での配布や、行政機関等の各種相談窓口や公共施設等に設置 ・ゲートキーパーの育成(162人)
評価等	・自分自身や大切な人のこころの状態を確認できるメンタルヘルスチェックシステム(こころの体温計)の利用啓発を広報やメール配信等で実施したが、R4年度よりアクセス数が減少した。 ・自殺のサインに気づき、適切な対応ができる人材を育成するため、ゲートキーパー育成講座を開催した。 ・引き続き、精神保健福祉士によるこころの健康相談事業の普及・啓発と相談しやすい環境の整備に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・精神保健福祉士によるこころの健康相談事業は、「健康たかやま21」にも位置づけられた「こころの健康」につながることから今後も継続していく。 ・メンタルヘルスに関する各種事業により、自殺者減少に向けた啓発を行う。 ・自殺対策計画に基づき、関係機関・団体等との課題の共有や取り組みの推進と各種施策の進捗管理を継続して行う。 ・誰も自殺に追い込まれることのない高山市の実現のため、引き続き自殺予防に向けた啓発、人材育成、相談体制の充実を図る。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・メンタルヘルスチェックシステムの維持(アクセス数:12,734件) ・精神保健福祉士によるこころの健康相談(22人) ・自殺予防啓発リーフレットを作成し、出前講座等での配布や、行政機関等の各種相談窓口や公共施設等に設置 ・ゲートキーパーの育成(284人)
評価等	・自分自身や大切な人のこころの状態を確認できるメンタルヘルスチェックシステム(こころの体温計)の利用啓発に努める必要がある。 ・自殺のサインに気づき、適切な対応ができる人材を育成するため、ゲートキーパー育成講座を開催した。 ・引き続き、精神保健福祉士によるこころの健康相談事業の普及・啓発と相談しやすい環境の整備に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・精神保健福祉士等によるこころの健康相談事業は、「健康たかやま21」にも位置づけられた「こころの健康」につながることから今後も継続していく。 ・メンタルヘルスに関する各種事業により、自殺者減少に向けた啓発を行う。 ・自殺対策計画に基づき、関係機関・団体等との課題の共有や取り組みの推進と各種施策の進捗管理を継続して行う。 ・誰も自殺に追い込まれることのない高山市の実現のため、引き続き自殺予防に向けた啓発、人材育成、相談体制の充実を図る。

担当課 予算要求 ポイント	・自殺対策を推進するためのゲートキーパーの育成、こころの健康相談等の実施に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41220 健康診査事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画		
	款	4	衛生費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり									
	項	1	保健衛生費		政策分野	1	福祉・医療・健康									
	目	2	予防費		施策分野	(6)	健康・保健									
担当課	医療保健部	健康推進課	内線	2846				市長公約								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	各種検診を実施し、疾病の予防及び早期発見、早期治療を行うことで健康増進を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> 前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票を送付 4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施 胃部レントゲン検査が受けられない市民を対象とした胃内視鏡による胃がん検診の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
がん(胃・大腸・肺・乳・子宮頸がん)検診受診率(69歳未満)	66.0%	65.8%	60%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		136,058	119,977	136,018	136,018	118,516	△ 1,461
特定財源	国費 (がん検診推進事業費1/2)	90	103	150	150	122	19
	県費 (健康増進事業費2/3)	3,440	3,201	3,770	3,770	3,288	87
	その他						
一般財源		132,528	116,673	132,098	132,098	115,106	△ 1,567
新規・拡充	主な事業内容						
	健康診査委託料	16,200	14,220	15,300	15,300	14,153	△ 67
	がん検診委託料	90,600	78,327	90,700	89,725	75,279	△ 3,048
○ 1	骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、肝炎検査、胸部レントゲン委託料	17,400	16,574	17,600	17,600	16,250	△ 324
	胃内視鏡検診委託	4,000	3,583	4,100	4,100	3,873	290

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		154,048
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
154,033	154,048	154,048	18,030	
176	170	170	20	
3,708	3,680	3,680	△ 90	
150,149	150,198	150,198	18,100	
査定額	説明			
16,000				
95,700				
27,900				
4,100				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票等を送付。4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施した。 がん検診推進事業により、乳がん(40歳)・子宮頸がん(20歳)・大腸がん(40歳)について、一定年齢に到達した者に対して自己負担金の無料化を実施した。 各種検診受診者数(総数:40,505人) 健康診査:2,457人 胃がん:4,788人 胃がん(内視鏡):174人 大腸がん:8,745人 子宮頸がん:5,613人 乳がん:5,900人 肺がん:10,255人 前立腺がん:831人 肝炎ウイルス:518人 歯周疾患:504人 骨粗鬆症:720人 	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 健康意識の向上、生活習慣改善のため、各種検診を実施した。 引き続き各種検診の受診率の向上に努める必要がある。 歯周疾患については、若いうちから歯や口腔の健康管理を行っていく必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診を継続して実施し、受診率の向上を目指す。 「健康たかやま21」の目標である、がん検診受診率の達成を目指す。 生命保険会社や協会けんぽとの協定に基づき、市が行う各種検診の受診勧奨や健康教室等の案内文書の配付等で協働することで、市民全体の健康づくりを推進する。 歯周疾患検診の対象者に新たに20歳と30歳を追加し、若い年代からの歯・口腔の健康の保持増進を図る。 	

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 前年度末に各種検診の全対象者に申込書を送付し、希望のあった方に問診票等を送付。4月中旬から3月中旬まで各種検診を実施した。 歯周疾患検診の対象者に新たに20歳と30歳を追加して実施した。 がん検診推進事業により、乳がん(40歳)・子宮頸がん(20歳)・大腸がん(40歳)について、一定年齢に到達した者に対して自己負担金の無料化を実施した。 各種検診受診者数(総数:39,338人) 健康診査:2,420人 胃がん:4,354人 胃がん(内視鏡):188人 大腸がん:8,521人 子宮頸がん:5,533人 乳がん:5,792人 肺がん:9,951人 前立腺がん:835人 肝炎ウイルス:542人 歯周疾患:517人 骨粗鬆症:685人 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 健康意識の向上、生活習慣改善のため、各種検診を実施した。 引き続き各種検診の受診率の向上に努める必要がある。 歯周疾患については、引き続き若いうちから歯や口腔の健康管理を行っていく必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診を継続して実施し、受診率の向上を目指す。 「健康たかやま21」の目標である、がん検診受診率の達成を目指す。 生命保険会社や協会けんぽ等との協定に基づき、市が行う各種検診の受診勧奨や健康教室等の案内文書の配付等で協働することで、市民全体の健康づくりを推進する。 歯周疾患検診を20歳から実施し、若い年代からの歯・口腔の健康の保持増進を図る。 	

担当課 予算要求 ポイント	各種がん検診、健康診査等に必要経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	41220 健康診査事業費	区分	<input type="checkbox"/> R6新規	<input type="checkbox"/> R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	健康推進課
枝番・内容	1 歯周疾患検診の対象年齢拡大		<input checked="" type="checkbox"/> R6拡充	<input type="checkbox"/> R7拡充		款	4	衛生費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	保健衛生費			
		<input type="checkbox"/>		目		2	予防費	内線		
								作成年月		R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・歯科検診の機会を確保し、歯・口腔の健康の保持・増進を図る	概要	・歯周疾患検診の対象年齢に20歳と30歳を追加し、定期的な歯科検診の機会の確保と、歯・口腔の健康の保持・増進につなげる
----	-------------------------------	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	1,500
	繰越	
	補正等	
	最終	1,500
決算額		1,897
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	1,700
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		200

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	1,700
	繰越	
	補正等	
	最終	1,700
決算額		1,943
対前年度増減額(決算)		46

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,300
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に20・30歳を追加 ・実施方法:委託歯科医療機関による個別検診
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大対象者への周知 4月中旬:対象者に案内を送付 5月:希望のあった方に受診票を送付 6~12月:歯周疾患検診を実施

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・4月:拡大対象者(20・30歳)へ検診案内を送付 ・5月:希望のあった方に受診票を送付 ・6~12月:委託歯科医療機関による個別検診を実施 受診者は、20歳 19人、30歳 40人
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢の拡大により、若い年代からの歯・口腔の健康の保持・増進につなぐことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	若い年代からの歯・口腔の健康の維持・増進に向け、今後も継続実施していく。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者:20・30・40・45・50・55・60・65・70歳 ・実施方法:委託歯科医療機関による個別検診
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> 前年度末:各種検診の全対象者に申込書を送付 5月:希望のあった方に受診票を送付 6~12月:歯周疾患検診を実施

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41230 訪問指導事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	健康たかやま21、過疎地域持続的発展計画					
	担当課	医療保健部	健康推進課		内線	2815	款			4	衛生費	ポイント		(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり	市長公約			
							項			1	保健衛生費	政策分野		1	福祉・医療・健康				
							目			2	予防費	施策分野		(6)	健康・保健				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健指導が必要であると認められる市民及びその家族に対して、訪問により必要な指導を行い、健康の保持増進を図る。	概要	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導の実施
----	---	----	----------------------------

総合計画等 主な指標				R5実績	R6実績	R6目標
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(H25比)				+1.1%	+1.1%	25%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		932	856	930	930	804	△ 52
特定財源	国費 ()						
	県費 (健康増進事業費2/3)	34	34	34	34	34	0
	その他 ()						
一般財源		898	822	896	896	770	△ 52
新規・拡充	主な事業内容						
	訪問指導事業	932	856	930	930	804	△ 52

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
718	720	720	△ 210	
31	31	31	△ 3	
687	689	689	△ 207	
査定額	説明			
720				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(3,106人)	
評価等	・健康診査を受けられた方の中から、生活習慣改善のための保健指導、医療機関への受診勧奨等、健診結果から目的別に対象者を抽出し、より個性のある保健指導の実施に努めた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定	・保健指導が必要な市民に対し、生活習慣と健康状態の改善につながるような訪問指導を実施していく。 ・若年者からの健診受診の習慣化が図られるような訪問指導に努める。 ・協会けんぽの事業者等と市民の健康課題について共有する。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・健診結果や療養上から必要な者に対する訪問指導を実施した。(2,738人)	
評価等	・健康診査を受けられた方の中から、生活習慣改善のための保健指導、医療機関への受診勧奨等、健診結果から目的別に対象者を抽出し、より個性のある保健指導の実施に努めた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定	・保健指導が必要な市民に対し、生活習慣と健康状態の改善につながるような訪問指導を実施していく。 ・若年者からの健診受診の習慣化が図られるような訪問指導に努める。 ・協会けんぽの事業者等と市民の健康課題について共有し、連携促進に努める。

担当課 予算要求 ポイント	・中学3年生から74歳までの保健指導の実施に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41240 感染症対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	新型インフルエンザ等対策行動計画、過疎地域持続的発展計画
	款	4	衛生費		分野別								
担当課	医療保健部 健康推進課	内線	2804	項	1	保健衛生費	分業別	政策分野	1	福祉・医療・健康	市長公約		
				目	2	予防費				施策分野		(6)	健康・保健

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対し予防接種を実施することにより、疾病の発病及び重症化予防、まん延を予防する。 新たな感染症の感染拡大を可能な限り抑制して、健康被害を最小限にとどめ、社会・経済への影響を低減する。 新たな感染症に対する備蓄品の適正な管理と計画的な更新 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種(A類・B類)の実施 小児インフルエンザ予防接種に対する助成 小児がん患者ワクチン再接種に対する助成 带状疱疹予防接種に対する助成 新たな感染症対策備蓄品(マスク・防護服・消毒薬等)の計画的な更新
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
定期予防接種率(A類疾病)	90.4%	89.1%	95.0%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5			R6		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		298,112	265,091	343,157	529,065	381,479	116,388
特定財源	国費(感染症対策事業費1/2 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費10/10)	49,667	45,393	1,470	58,794	58,454	13,061
	県費(小児がん患者ワクチン再接種補助金1/2)	100	478	100	100	3	△ 475
	その他(福祉健康基金繰入金 新型コロナワクチン確保助成)	30	30	10,000	152,700	51,441	51,411
一般財源		248,315	219,190	331,587	317,471	271,581	52,391
新規・拡充	主な事業内容						
○ 1	定期予防接種(麻しん・風疹、四種・二種混合、日本脳炎、ロタウイルス、B類コロナ等)	174,817	171,289	256,380	399,080	211,917	40,628
○ 2	任意予防接種費補助金(小児インフル、带状疱疹、風しん)	19,684	10,663	40,300	40,263	24,714	14,051
	小児がん患者へのワクチン再接種に対する助成	200	13	200	200	8	△ 5
	風しん対策	13,976	1,901	4,220	4,220	2,470	569
	おたふくかぜ予防接種に対する助成						
	子宮頸がんワクチン接種	37,020	29,952	31,910	31,910	76,703	46,751
	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付金	44,861	44,861	0	57,316	57,274	12,413

*下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種を実施した。(A類疾患接種率:90.4%) B型肝炎1,395人、ヒブ1,917人、小児肺炎球菌1,914人、4種混合2,032人、2種混合564人、BCG484人、麻しん・風しん1,083人、水痘851人、子宮頸がん1,247人、日本脳炎2,223人、ロタウイルス1,013人、高齢者インフルエンザ16,484人、高齢者肺炎球菌650人 小児インフルエンザは生後6か月以上中学3年生までの子どもに対し、5,032人の助成を行った。 新型インフルエンザ等対策備蓄品(マスク・防護服・手指消毒薬等)の計画に基づく更新を行った。 成人の風しん追加対策として抗体検査106件行い、十分な抗体がない者に予防接種25件を行った。 小児がん患者へのワクチン再接種に対し、2件助成を行った。 	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 感染症のまん延や重症化を予防するため、引き続き各種予防接種の接種動員に努める必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種法に沿って実施する。特に感染力が強い、麻しん・風しんの予防接種については個別動員等を実施し、接種率の向上を図る。 子宮頸がんワクチンの積極的動員が控えられていた期間に接種ができなかった年代へのキャッチアップ接種(R4~R6に実施)について、更なる周知を図る。 予防接種法に規定されていない带状疱疹、おたふくかぜ等の任意接種を市民が希望される場合は、その効果や副反応の発生状況等を主治医と十分に相談して実施を判断するよう説明していく。 	

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種を実施した。(A類疾患接種率:89.1%) B型肝炎1,155人、ヒブ1,473人、小児肺炎球菌1,581人、5種混合1,038人、4種混合590人、2種混合609人、BCG394人、麻しん・風しん967人、水痘855人、子宮頸がん3,028人、日本脳炎2,239人、ロタウイルス797人、高齢者インフルエンザ15,655人、高齢者肺炎球菌252人、高齢者コロナ4,993人 小児インフルエンザは生後6か月以上中学3年生までの子どもに対し、4,642人の助成を行った。 带状疱疹は50歳以上の希望者に助成を行った。(1,386回分) 新型インフルエンザ等対策備蓄品(マスク・防護服・手指消毒薬等)の計画に基づく更新を行った。 成人の風しん追加対策として抗体検査297件行い、十分な抗体がない者に予防接種60件を行った。 小児がん患者へのワクチン再接種に対し、1件助成を行った。 	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 感染症のまん延や重症化を予防するため、引き続き各種予防接種の接種動員に努める必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種法に沿って実施する。特に感染力が強い、麻しん・風しんの予防接種については個別動員等を実施し、接種率の向上を図る。 子宮頸がんワクチンは、キャッチアップ接種による接種動員の取組みが終了を迎える中、定期接種対象者への動員に引き続き注力する。 おたふくかぜの任意接種への助成が開始されることから、その効果や副反応の状況等を十分理解した上で実施を判断するよう説明していく。 	

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	403,101
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
372,219	403,101	403,101	59,944
42	40	40	△ 60
		1,000	△ 9,000
372,177	398,021	397,021	65,434
査定額	説明		
360,900			
24,500			
80	0 風しんの追加対策はR6末で終了		
2,700	R7から定期予防接種に計上		
5,040			

*入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策に必要な経費を計上 任意予防接種(おたふくかぜワクチン)に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 带状疱疹定期接種化に必要な経費を計上 子宮頸がんワクチンについて、国の方針を踏まえキャッチアップ対象者等の接種期間の延長に必要な経費を計上
市長査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	41240 感染症対策事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R6新規	<input type="checkbox"/> R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	健康推進課		
			<input type="checkbox"/> R6拡充	<input type="checkbox"/> R7拡充		款	4	衛生費				
枝番・内容	1 定期予防接種(新型コロナワクチン予防接種(B類))		<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	1	保健衛生費			内線	2804
			<input type="checkbox"/>			目	2	予防費			作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチンの全額公費による接種は、令和6年3月31日をもって終了した。 ・令和6年4月以降は、65歳以上の者および60～64歳で一定の基礎疾患有する者を対象に、B類疾病の定期接種として秋冬に行い、個人の重症化予防と周囲への感染予防を図る。 	概要	・新型コロナワクチン予防接種(B類)について、65歳以上の者および60～64歳で一定の基礎疾患有する者を対象とした、秋冬の定期接種に係る費用を助成する。
----	---	----	--

[参考] R5決算(Do-Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	76,870
主な経費	・需用費	
	・役務費	
	・委託料	
	・補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	76,870

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do-Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	76,870
	繰越	
	補正等	128,700
	最終	205,570
決算額		66,131
対前年度増減額(決算)		66,131

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	117,572
主な経費	・需用費	
	・役務費	
	・委託料	
	・補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	40,702

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者 65歳以上の者および60～64歳で一定の基礎疾患有する者 ・助成内容 標準的な接種費用7,000円に対し、他の定期B類と同様に自己負担1/3(2,300円)とし、接種費用を助成する。
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末に予診票及び接種案内を郵送(これまでに接種履歴がある方) ・接種対応期間: R6年10月1日～R7年1月31日 ・接種機関: 高山市内及び飛騨市内の指定医療機関

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・接種者数: 4,993人(内、60～64歳: 3人) ・65歳以上の接種率: 17.9% ・R6年度予算編成後、標準的な接種費用の見直しに関する報告を国から受け、想定より8,300円増額 ・増額分について補正予算で対応(基金管理団体から助成金として支援あり)
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者インフルエンザワクチン(58.6%)と比べて接種率が低い ・今後の接種率の動向と、感染状況を注視していく必要がある
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・接種の効果、副反応の状況等を理解した上で、安全に接種を受けられるよう、対象者への案内通知を確実に進行 ・指定医療機関に対して、安全な実施について、引き続き必要な情報提供等を行う <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者 65歳以上の者および60～64歳で一定の基礎疾患有する者 ・助成内容 標準的な接種費用に対し、他の定期B類と同様にその1/3を助成する。
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末に予診票及び接種案内を郵送(前年度に接種を受けた方) ・接種対応期間: R7年10月1日～R8年1月31日 ・接種機関: 高山市内及び飛騨市内の指定医療機関

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	41240 感染症対策事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R6新規	<input type="checkbox"/> R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	健康推進課
枝番・内容	2 带状疱疹任意予防接種への助成		<input type="checkbox"/> R6拡充	<input type="checkbox"/> R7拡充		款	4	衛生費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	保健衛生費			
		<input type="checkbox"/>		目		2	予防費	作成年月		

事業の目的・概要(Plan)

目的	・带状疱疹予防接種を希望する者に対し、費用の助成をすることで、神経障害等の予防と、予防接種に対する経済的負担の軽減を図る	概要	・50歳以上の市民に対し、水痘生ワクチンまたは带状疱疹不活化ワクチンいずれかの接種費用の一部(上限有)を一生のうち1回助成する
----	--	----	---

[参考] R5決算(Do-Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	25,000
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		25,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do-Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	25,000
	繰越	
	補正等	
	最終	25,000
決算額		14,959
対前年度増減額(決算)		14,959

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	12,400
主な経費	補助金	
対前年度増減額(当初予算)		△ 12,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・対象者 50歳以上の市民 ・助成内容 接種費用の一部を助成 生ワクチン 1回 4,000円を上限に助成 不活化ワクチン 1回 11,000円を上限に2回分(22,000円を上限)助成 ・申請方法 窓口申請 WEB申請
[スケジュール]	・R6年4月から助成開始

事業実績、評価等	
[事業実績]	・助成人数と金額 生ワクチン:41人 164千円 不活化ワクチン:1,345人 14,795千円
[評価等]	・接種希望者がかかりつけ医への相談等を通し、接種について安心、安全な判断ができるよう、接種による効果や副反応等に関する情報提供に努める必要がある
次年度以降の考え方(担当課)	・R7年度から定期接種となることから、任意接種と定期接種の制度の違いについて、広報誌等で周知を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・対象者 50歳以上の市民(過去に助成を受けた方、今年度定期接種の対象者を除く) ・助成内容 接種費用の一部を助成 生ワクチン 1回 4,000円を上限に助成 不活化ワクチン 1回 11,000円を上限に2回分(22,000円を上限)助成 ・申請方法 窓口申請 WEB申請
[スケジュール]	・年間を通して、助成申請を受付、助成券交付

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41250 保健センター管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画		
	款	4	衛生費		ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		市長公約							
	項	1	保健衛生費		政策分野	1	福祉・医療・健康									
	目	2	予防費		施策分野	(6)	健康・保健									
担当課	医療保健部	健康推進課	内線	2804												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・支所地域の公衆衛生の向上及び市民の健康の保持・増進を図る。	概要	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営
----	--------------------------------	----	--------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R5			R6		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	9,330	8,240	6,680	6,761	6,577	△ 1,663
特定財源						
国費()						
県費()						
その他(保健センター使用料、敷地占用料 等)	1,419	1,593	1,704	1,704	1,511	△ 82
一般財源	7,911	6,647	4,976	5,057	5,066	△ 1,581
新規・拡充	主な事業内容					
保健センターの管理運営	9,330	8,240	6,680	6,761	6,577	△ 1,663

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額		24,170
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,080	24,170	24,170	17,490	
493	491	491	△ 1,213	
4,587	23,679	23,679	18,703	
査定額	説明			
24,170				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営 延べ利用日数 391日、延べ利用者数 3,420人
評価等	・必要な保健事業は実施できているが、施設の利用頻度が低い施設が多い。各保健センターの利用状況を勘案し、一之宮保健センターについては令和5年6月末で廃止した。 ・他の保健センターについても、利用状況をみながら廃止が必要な場合は調整を進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定 ・引き続き、高山市保健センターの適正な管理・運営を行いつつ、公共施設等総合管理計画に基づく支所地域の施設の廃止に向けた調整を進める。

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・支所地域に設置されている保健センター(6か所)の管理・運営 延べ利用日数 368日、延べ利用者数 3,658人
評価等	・久々野保健センターについては、必要な保健事業は地域内にある他の施設で実施が可能であり、保健センターの利用頻度や地域住民の利便性等を勘案し、令和6年度末で廃止した。 ・他の保健センターについても、利用状況をみながら廃止が必要な場合は調整を進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定 ・引き続き、高山市保健センターの適正な管理・運営を行いつつ、公共施設等総合管理計画に基づく支所地域の施設の廃止に向けた調整を進める。

担当課 予算要求 ポイント	・支所地域の保健センターの適正な管理・運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・久々野保健センターの解体に必要な経費を計上
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに